

HOPEレポートXIX 「団塊世代～定年(引退)後のライフスタイル調査」

定年にふさわしい言葉は、「新たな出発」。

「仕事」も「ボランティア」も「趣味」も！新たな“生涯現役”スタイル望む団塊世代。

仕事はしたいが、定年（引退）後もフルタイムで働くことには消極的。

団塊世代の理想のライフスタイル、「楽しく、体にやさしい、知的な生活」。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しておりますが、このたび、「団塊世代～定年(引退)後のライフスタイル調査」を行いました。今回はその速報がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

今回の調査は、全国の40～60代男女1354名（うち団塊世代の男女計360名）に対し、2005年7月上旬にインターネットで調査を行ったものです。

その結果、定年（引退）後も、「仕事」「ボランティア」「趣味」全てをやりたいという人が5割近くもあり、“生涯現役”志向の団塊世代の素顔が明らかとなりました。ただし、仕事をしたい人の中でも、「フルタイムで働きたい」という回答は2割に満たず、時間にゆとりを持ってバランスよく生活を送りたいという希望が強いようです。

また、団塊世代は、6割以上が定年（引退）後も、「社会的役割」を持つことを希望。他世代に比べても、社会との接点を求める気持ちは強いようです。

定年（引退）にふさわしい言葉は何かという質問については「新たな出発」が「第二の人生」を抜き、「自由」「自分の再発見」なども上位となる一方、「老後」「引退」など人生の終盤を予感させる言葉は低位に留まりました。

消費意向について見てみると、団塊世代のお金の使い道は、男女とも1、2位は「国内旅行」「海外旅行」となりました。続いて、男性ではインターネット、グルメの順に多く、女性の方は音楽・映画鑑賞、グルメの順になりました。団塊世代は、エンタテインメント、体調管理・体のケア、知的探究心といった消費への志向が強く、理想的な定年（引退）後のライフスタイルは「楽しく、体にやさしい、知的な生活」と言えそうです。

<調査結果トピックス>

団塊世代、「仕事」「ボランティア」「趣味」のいずれもやりたい人が42.5%で最多。

「仕事はしたいが、フルタイムで働くことには消極的」な団塊世代。「時間にゆとりがあり、過去の経験を活かせる仕事」を望む人が過半数を占める。

団塊世代は、6割以上が定年（引退）後も、「社会的役割」を希望。他世代に比べても、社会との接点を求める気持ちは強い。

定年（引退）にふさわしい言葉は、「新たな出発」が「第二の人生」を抜き、「自由」「自分の再発見」なども上位を占める。「老後」「引退」など受動的なイメージは低調。

定年（引退）後のお金の使い道、男女とも1、2位は「海外旅行」「国内旅行」。続いて、男性ではインターネット、グルメの順に多く、女性の方は音楽・映画鑑賞、グルメの順に。理想的な定年（引退）後のライフスタイルは「楽しく、体にやさしい、知的な生活」。

添付資料：調査データ

調査概要 調査時期：2005年7月上旬
 調査地域：全国
 調査対象：40～60代男女合計1354名のうち
 団塊世代（1946-1951年生）男性258名、女性102名
 調査方法：インターネット調査

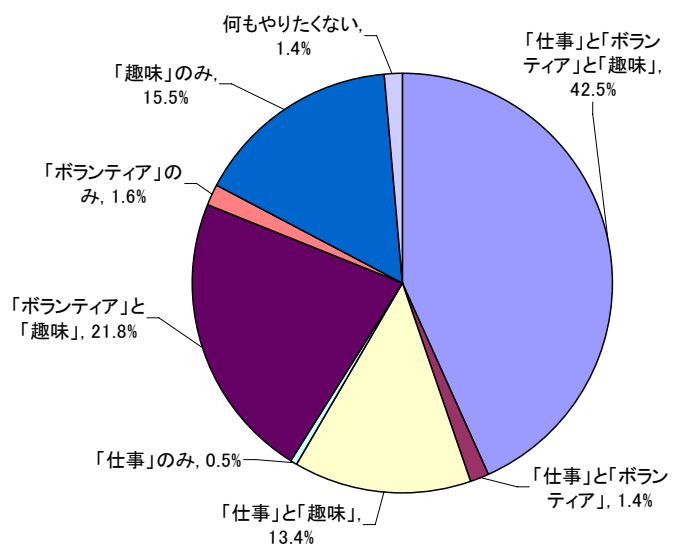
団塊世代、「仕事」「ボランティア」「趣味」のいずれもやりたい人が42.5%で最多。2位以下を大きく引き離す。

団塊世代に、定年（引退）後の仕事・ボランティア・趣味の意向をたずねてみたところ、「仕事とボランティアと趣味」が1位で、およそ半数近い42.5%となりました。次いで多かったのは「ボランティアと趣味」ですが、21.8%と「仕事とボランティアと趣味」と答えた人の約半分でした。

「ボランティア」や「趣味」などは、時間に余裕が出来て取り組む代表的な存在ですが、それだけでなく「仕事」をやりたいという人も多く、全体の6割近く（計57.8%）を占めました。

「仕事」「ボランティア」「趣味」の全ての面で、積極的に“生涯現役”を望む団塊世代の素顔が明らかとなりました。

団塊世代 定年（引退）後の「仕事」・「ボランティア」・「趣味」意向



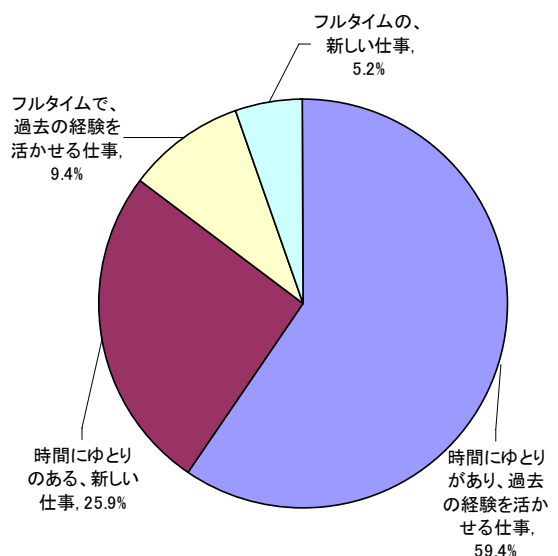
仕事はしたいが、フルタイムで働くことには消極的な団塊世代。「時間にゆとりがあり、過去の経験を活かせる仕事」を望む人が過半数を占める。

上記の質問で、「定年（引退）後も仕事をしたい」と答えた人（団塊世代）に、定年（引退）後に希望する仕事のタイプを尋ねました。その結果、フルタイムで働きたいという人は計14.6%で、2割に届きませんでした。

「時間にゆとりがあり、過去の経験を活かせる仕事」を望む人が過半数（59.4%）を占め、仕事はやりたいが、時間にゆとりのある働き方・過去の経験を活かした仕事を志向する意識が垣間見えます。

「時間にゆとり」を求める人は、合計で8割を超えており、「ボランティア」「趣味」なども交えてバランスよく生活を送りたい、との思いが強いようです。

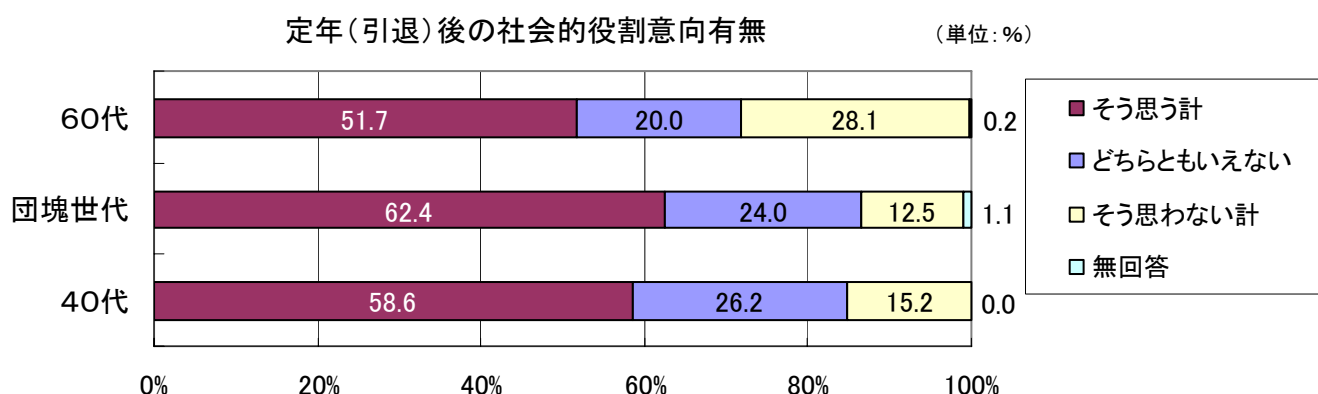
団塊世代が、定年（引退）後に希望する仕事



団塊世代は、6割以上が定年(引退)後も「社会的役割」を持ちたいと希望。他世代に比べても、社会との接点を求める気持ちは強い。

定年(引退)後の社会的役割意向の有無についての質問では、団塊世代の6割以上(62.4%)が、「社会的役割が欲しいと思う」と回答しています。これは、40代:58.6%、60代:51.7%に比較しても高い数値となっており、定年(引退)後も社会との接点を求める、団塊世代の志向が明らかとなりました。

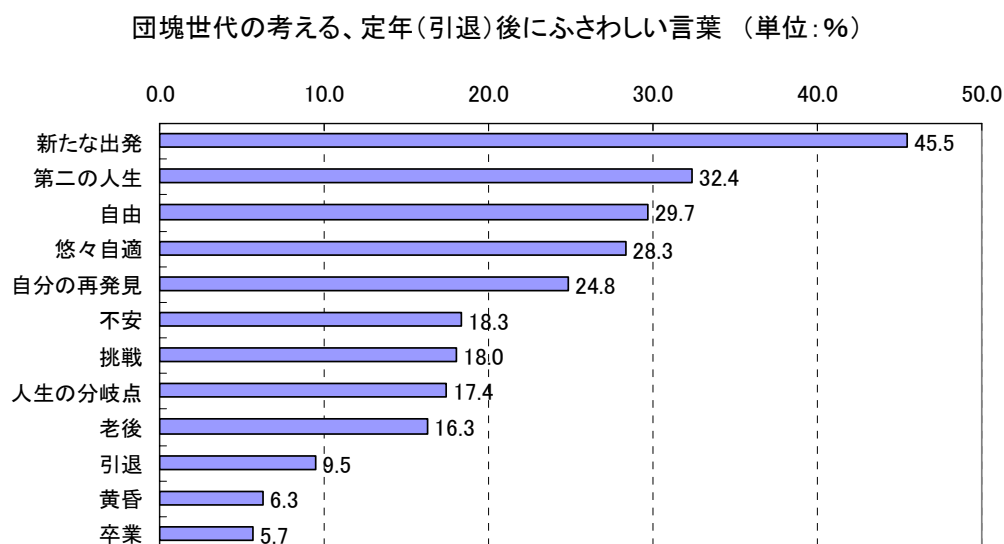
団塊世代の、自分たちが日本の戦後を形作ってきたという自負心が、定年(引退)後の志向にも影響を与えているのでしょうか。先の質問で、団塊世代の「仕事」への思いの強さが見られましたが、そんな団塊世代の特徴は、この質問の回答にも現れているといえそうです。



定年(引退)にふさわしい言葉は、「新たな出発」「第二の人生」「自由」が上位占める。「老後」「引退」など受動的なイメージは低調。

団塊世代に、「あなたの定年(引退)にふさわしい言葉は何ですか」と質問したところ、従来よく言われてきた「第二の人生」を抜いて、「新たな出発」が第1位となりました。そのほか「自由」「自分の再発見」など、定年(引退)後も前向きに活力をもって過ごそうという意欲が現れていました。

一方、「老後」「引退」「黄昏」「卒業」など、人生の終盤・余生といったイメージを抱かせる言葉は軒並み少なく、低位なものとなりました。“生涯現役”を自負する団塊世代のパワーは、こうした言葉の選択にも良く反映されていると考えられます。



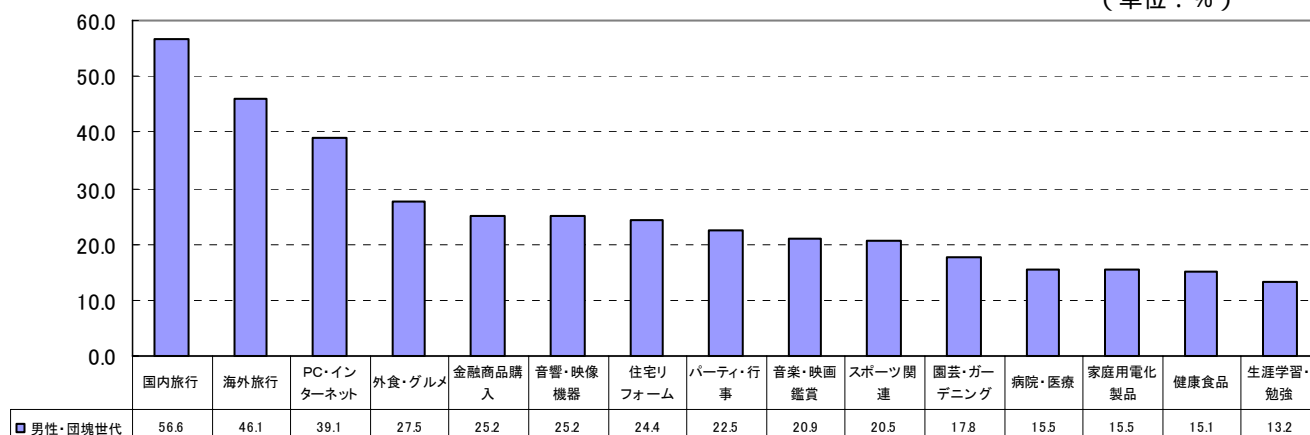
**定年（引退）後のお金の使い道、男女とも「国内旅行」「海外旅行」が1、2位を占める。
団塊世代の理想のライフスタイルは「楽しく、体にやさしい、知的な生活」。**

定年（引退）後、お金をかけたいと思うものについては、団塊男性・団塊女性とも1位「国内旅行」、2位「海外旅行」の順でした。続いて、男性ではインターネット、グルメの順に多く、女性の方は音楽・映画鑑賞、グルメの順になりました。時間とお金がかかる旅行については、定年（引退）後にじっくりと楽しみたい、という気持ちの表れかもしれません。

全体に、生活を豊かに彩るエンタテインメント性の強いもの、体調管理・体のケアを意識したもの、そして知的探究心に関わるものが目立ちました。どうやら、団塊世代の理想的な定年（引退）後のライフスタイルは「楽しく、体にやさしい、知的な生活」と言えそうです。

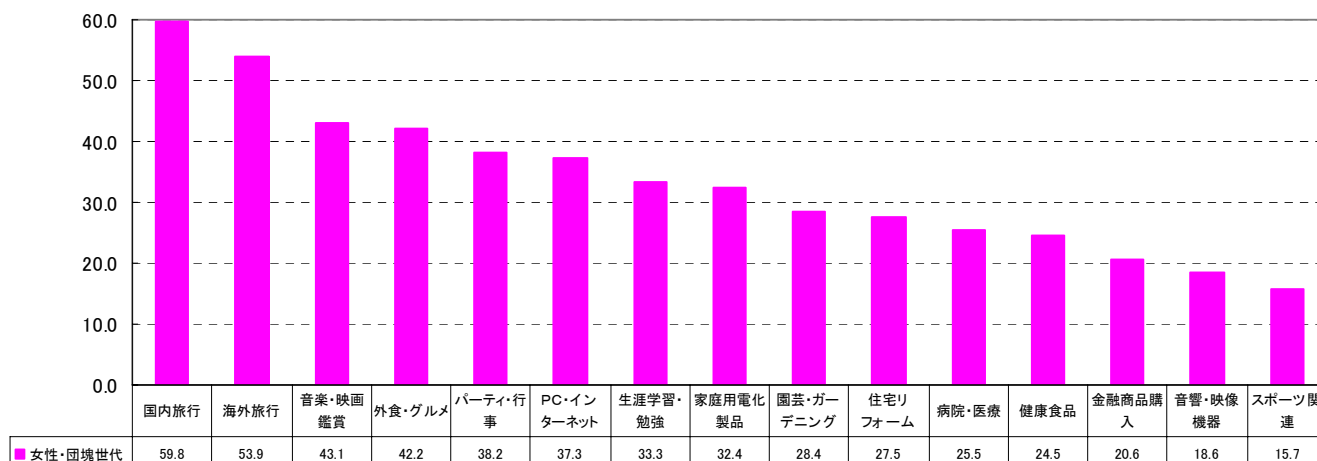
定年（引退）後、あなたが「お金」をかけたいと思うもの（男性・団塊世代）

（単位：％）



定年（引退）後、あなたが「お金」をかけたいと思うもの（女性・団塊世代）

（単位：％）



本件に関するお問い合わせ

博報堂

広報室

泉谷・宮川

Tel : 03 - 5446 - 6161

エルダービジネス推進室

阪本・竹波

Tel : 03 - 5446 - 4355

ご参考

エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポート つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポート 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポート 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポート 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPE レポート 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」(2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊 『新しい大人文化』創造のヒント 『開け ひま』(2003年10月・既報)
12. HOPE レポート 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPE レポート 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPE レポート 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPE レポート 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPE レポート 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPE レポート 「団塊世代のエンタテイメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPE レポート 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPE レポート 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPE レポート 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (今回)

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)